



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鶴見区東寺尾1丁目PJ 新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県横浜市鶴見区東寺尾1丁目415番	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用、都市計画区域市街化区域、準防火地域	平均居住人員	72人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2020年1月23日
敷地面積	1,313 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社建築事業部 一級建築士事務所
建築面積	761 m <sup>2</sup>	確認日	2020年1月23日
延床面積	2,500 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 横浜支社建築事業部 一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境 昼光率(住居部)=1.8 バルコニーとカーテンによりグレアを制御 自然換気有効開口面積を居室床面積の1/10以上確保している	Q2 サービス性能 個室15.91㎡、多床室無し 維持管理に配慮した設計において、取り組みが標準以上である。 床: ビニル床シート、壁: ビニルクロス貼、天井: ビニルクロス貼	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー BPI=0.74	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+PB)	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> =91%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

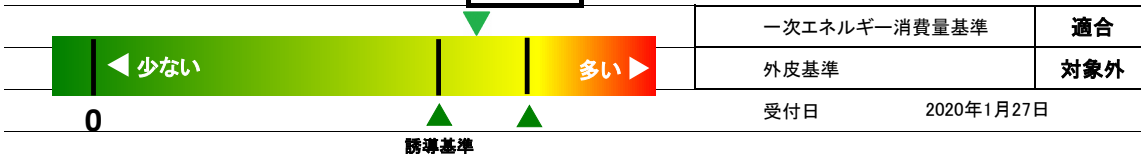
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)鶴見区東寺尾1丁目PJ 新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **11** %削減



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱性のある建材を使用、BPI=0.74

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩昼光率(住居部)=1.8、バルコニーとカーテンによりグレアを制御

⑪自然換気有効開口面積を居室床面積の 1/10以上確保している

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫個室15.91㎡、多床室無し

⑬維持管理に配慮した設計において、取り組みが標準以上である。

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

⑭空地率40%以上

⑭ピロティ・庇の水平投影面積10%以上、緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積20%以上

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮外壁仕上げ材: 合成樹脂吹付、サイディング30年

⑮内装仕上げ材: 床:ビニル床シート、壁:ビニルクロス貼、天井:ビニルクロス貼

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱外構緑化指数20%以上、外来種に対し適切な対応を行っている

⑲植栽により、良好な景観を形成している

⑳バルコニーにより豊かな中間領域を形成している、防犯性に配慮している

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)鶴見区東寺尾1丁目PJ 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>									<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40		-
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40		-
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30		-
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30		-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20		-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.3</b>	0.35	<b>2.1</b>	1.00		<b>2.2</b>
2.1 室温制御				2.5	0.50	2.1	0.50		-
2.1.1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57		-
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.25	1.0	0.43		-
2.1.3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20		-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30		-
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.3</b>
3.1 屋光利用				3.0	0.30	4.2	0.30		-
3.1.1 屋光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.60	5.0	0.60		-
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-		-
3.1.3 屋光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40		-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30		-
3.2.1 屋光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	4.0	1.00		-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15		-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25		-
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.2</b>	1.00		<b>3.1</b>
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63		-
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00		-
4.2 換気				3.0	0.30	3.6	0.38		-
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33		-
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		-
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-		-
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-		-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.5</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		-
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00		-
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-		-
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-		-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		-
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50		-
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-		-
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50		-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		-
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50	-	-		-
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-		<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-
2.1.1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-
2.1.2 免震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		-
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-		-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-		-
2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-		-
2.4.1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-		-
2.4.3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-		-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>2.7</b>	0.30	<b>2.0</b>	1.00		<b>2.4</b>
3.1 空間のゆとり				2.2	0.30	1.0	0.50		-
3.1.1 階高のゆとり				3.0	0.60	1.0	0.60		-
3.1.2 空間の形状・自由さ				1.0	0.40	1.0	0.40		-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50		-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-		-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-

# CASBEE<sup>®</sup>横浜 | 評価結果 | 31-130



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)鶴見区東寺尾1丁目PJ新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)鶴見区東寺尾1丁目PJ 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-	-	1.8	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	-	3.0	
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	-	3.1	
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.5	0.50	-	-	-	2.5	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	-	2.9	
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	-	2.2	
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-	-	3.3	
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	-	2.4	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動				-	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-	
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-	-	-	
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-	-	-	
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-	-	-	
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	-	-	-	-	-	-	